

## 新たな中期経営計画（平成28～30年）を策定

京葉ガスは、平成 28 年から 3 カ年の施策展開を示す中期経営計画を策定しました。

お客さまに安全に、そして安心して都市ガスをお使いいただくことは、今後も変わることのない当社の使命であります。大きな環境変化の中でも、この使命を全うできるように、これまで以上に柔軟かつスピーディーに経営諸課題に対処し、地域の皆さまとともに中長期的に成長していくため、今般、新たな中期経営計画を策定しました。

本中期経営計画は、「オール京葉ガス(※)としてエネルギー供給事業をコアとしながら多様なサービスを提供し、『地域と共に成長する価値創造企業』を実現する」という基本的な方向性に基づき「エネルギー供給事業を基盤に、新たな事業領域へ果敢に挑戦」という 3 年後のありたい姿の実現に向けた平成 28～30 年の施策展開を示すものです。

当社は地域とともに歩んできたガス事業者として、これからも地域社会にとって必要不可欠で、より信頼される企業を目指し、ご愛顧いただいている大切なお客さまの安全・安心な暮らしに貢献するための施策に積極的に取り組むとともに、ご満足いただける付加価値サービスを提供するため、あらゆる努力を尽くし、本中期経営計画の達成に向けて全力でチャレンジしてまいります。

※オール京葉ガス:お客さまに提供する価値を高めるための当社、グループ会社を含めたビジネスパートナーで構成する連携体制



## — 中期経営計画（平成 28～30 年）の概要 —

### 【事業課題】

1. エネルギーシステム改革への対応  
ガス事業制度の変更に対して的確に対応していくとともに、平成 29 年のガス小売りの全面自由化に向けた社内体制の見直しなどを行い、お客さま対応の準備に万全を期します。
2. 保安の高度化と供給基盤の強靱化  
「お客さまへの安全・安心の提供」を高いレベルで実現するために、より一層の安定供給の確保と保安の確保および高度化を推進します。
3. サービス価値の向上  
既存事業における効率性を高めていくとともに、当社の強みである地域密着の特性を活かした新たな事業に積極的に挑戦します。
4. 経営基盤の整備  
一層の経営効率化を推進するとともに、業務品質などの向上の取り組みを通じ、市場や地域社会から信頼される企業を目指します。

### 【経営目標】

1. 安定供給と保安の確保に関する目標
  - ・ガスの製造から消費にかかわる重大事故件数：ゼロ
  - ・安定供給の確保と保安の高度化に資する設備投資額：100 億円（3 カ年計）
2. 営業・サービスに関する目標
  - ・お客さまニーズにお応えできる新たな付加価値サービスの提供
3. 経営指標に関する目標
  - ・平成 28～30 年 総資産経常利益率：4.0%（3 カ年平均）

# 中期経営計画

(平成 28 年～平成 30 年)

---

平成 27 年 11 月



# 目 次

I. はじめに.....	2
II. 環境認識.....	3
III. 事業の方向性.....	4
IV. 経営目標.....	6
V. 重点課題.....	7
1. エネルギーシステム改革への対応.....	7
(1) 制度変更への的確な対応.....	7
(2) 環境変化への対応.....	7
2. 保安の高度化と供給基盤の強靱化.....	7
(1) 保安の高度化.....	7
(2) 防災対策の高度化.....	8
(3) 供給基盤の強靱化.....	8
3. サービス価値の向上.....	8
(1) お客さまへの提供サービスの充実.....	8
(2) マルチエネルギー供給に向けた取り組み.....	8
(3) 最適なエネルギーサービスの提案.....	9
(4) 付加価値サービス事業の強化.....	9
(5) 販売チャネルの強化.....	10
4. 経営基盤の整備.....	10
(1) グループ一体となった競争力強化.....	10
(2) 経営効率化の推進.....	10
(3) 重点分野への投資.....	10
(4) 多様な人財活用.....	10
(5) CSR 経営の深耕.....	10

## I. はじめに

当社は平成 24 年 11 月に中期経営計画（平成 25 年～平成 27 年）を策定し、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故に伴うエネルギー業界を取り巻く急激な環境変化に対応すべく、「地震災害対策の一層の加速」「不断の経営効率化への取り組み」そして「天然ガスの普及拡大と高度利用による天然ガスシフトの推進」等、施策の達成に全社一丸となって取り組んでまいりました。

この間、エネルギーシステム改革に向けた社会的要請が高まり、平成 28 年 4 月には電力小売、平成 29 年中にはガス小売の全面自由化が決定しました。今後、お客さまの利便性の観点に立った競争環境整備を目的としたシステム改革の進展に伴い、これまでにない形でエネルギー間競争が起こると想定されます。こうした競争の激化にどう対応していくかが、今後の当社に課せられた大きな事業課題であると認識しております。

当社は創業以来、地域とともに歩み、おかげさまで、多くのお客さまに都市ガスをご利用いただくまでになりました。お客さまに安全に、そして安心して都市ガスをお使いいただくことは、当社ブランドメッセージである“ほっと、人、あんしん。”にも想いを込めた、今後も変わることのない当社の使命であります。大きな環境変化の中でも、この使命を全うできるように、これまで以上に柔軟かつスピーディーに経営諸課題に対処し、地域の皆さまとともに中長期的に成長していくため、経営理念および「お客さま満足度 No. 1 エネルギー事業者の実現」という当社が大事にする考え方を踏まえ、今般、本中期経営計画（平成 28 年～平成 30 年）を策定しました。

本中期経営計画は、「オール京葉ガスとしてエネルギー供給事業をコアとしながら多様なサービスを提供し、『地域と共に成長する価値創造企業』を実現する」という基本的な方向性に基づき「エネルギー供給事業を基盤に、新たな事業領域へ果敢に挑戦」という 3 年後のありたい姿の実現に向けた平成 28 年～平成 30 年の施策展開を示すものです。

当社は地域とともに歩んできたガス事業者として、これからも地域社会にとって必要不可欠で、より信頼される企業を目指し、ご愛顧いただいている大切なお客さまの安全・安心な暮らしに貢献するための施策に積極的に取り組むとともに、ご満足いただける付加価値サービスを提供するため、あらゆる努力を尽くし、本中期経営計画の達成に向けて全力でチャレンジしてまいります。

※オール京葉ガス：お客さまに提供する価値を高めるための当社、グループ会社を含めたビジネスパートナーで構成する連携体制

## II. 環境認識

### 1. エネルギーシステム改革の動向

当社は、ガス事業法や関係省令改正等のガス事業制度の変更に対する的確に対応していくとともに、平成 29 年のガス小売の全面自由化に向け、社内体制の見直し等を行い、お客さま対応の準備に万全を期す必要があります。

### 2. 原料調達に関わる動向

平成 29 年には、従来の油価格リンクとは異なる指標を持つ米国産シェールガスの輸入が開始される見通しとなっており、主原料である LNG 価格への影響が想定されます。当社は、今後も安定的に価格競争力のある都市ガスをお客さまにご提供するために原料調達のベストミックスによる安定購入をベースに購入価格の抑制に努める必要があります。

### 3. お客さまへの安全・安心の提供

当社は、ガス事業者の社会的使命である「お客さまへの安全・安心の提供」を高いレベルで実現するために、先の東日本大震災の経験や首都直下地震、南海トラフ地震等の災害に備えた国土強靱化の施策を踏まえ、より一層の安定供給の確保と保安の確保及び高度化を推進する必要があります。

### 4. エネルギーの有効利用への貢献

当社は、エネルギー供給事業者の社会的使命として、「国が推進する多様なエネルギー源の活用」や改正省エネ法で定められた「電力負荷平準化の推進」に貢献するため、エネファームを含むコージェネレーション等の分散型エネルギー機器やガス空調機器等の普及促進によりエネルギーの効率的利用に貢献する必要があります。

### 5. エネルギー市場の競合激化

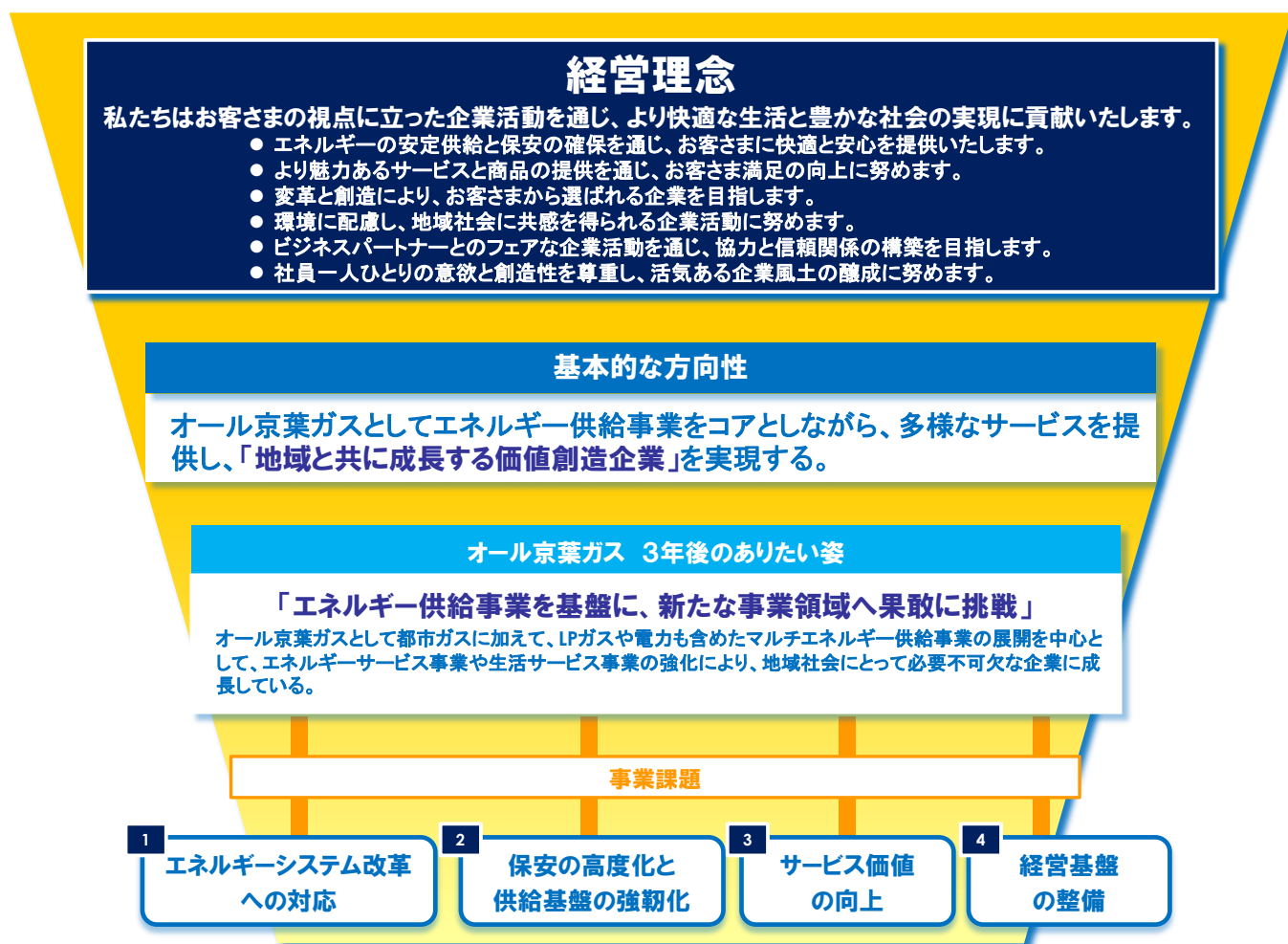
今後、ガス機器の高効率化や省エネ意識の高まりに加え、人口・世帯の減少によりガス市場が縮小していくことが想定される中、エネルギーシステム改革の進展により電力・都市ガス・石油・LPGといったエネルギーの垣根を越えた競合激化が予想されます。このような中、当社はお客さまから選んでいただくため、お客さまの豊かな暮らしを実現する新たな付加価値サービスの提供を目指す必要があります。

### Ⅲ. 事業の方向性

#### 1. 基本的な考え方

「中期経営計画（平成 25 年～平成 27 年）」では「エネルギーセキュリティの強化に向けて地震災害対策を一層加速させるなかで不断の経営効率化に取り組むとともに、オール京葉ガスで地域密着体制を強化してお客さまに提供するサービスを充実することで、天然ガスシフトを推進する」という基本的な考え方のもと、あらゆる可能性に果敢にチャレンジしてまいりました。

この間、進展しているエネルギーシステム改革に伴う、当社を取り巻く経営環境の大きな変化を踏まえ、本中期経営計画においては、「オール京葉ガスとしてエネルギー供給事業をコアとしながら多様なサービスを提供し、『地域と共に成長する価値創造企業』を実現する」という基本的な方向性のもと、実現に向けた事業課題として「エネルギーシステム改革への対応」「保安の高度化と供給基盤の強靭化」「サービス価値の向上」「経営基盤の整備」の 4 つを設定しました。



## 2. 事業課題

本中期経営計画（平成 28 年～平成 30 年）では、事業課題ごとに重点課題を設定しました。

### (1) エネルギーシステム改革への対応

ガス事業制度の変更に対して的確に対応していくとともに、平成 29 年のガス小売の全面自由化に向けた社内体制の見直し等を行い、お客さま対応の準備に万全を期します。

制度変更への的確な対応

環境変化への対応

### (2) 保安の高度化と供給基盤の強靱化

「お客さまへの安全・安心の提供」を高いレベルで実現するために、より一層の安定供給の確保と保安の確保及び高度化を推進します。

保安の高度化

防災対策の高度化

供給基盤の強靱化

### (3) サービス価値の向上

既存事業における効率性を高めていくとともに、当社の強みである地域密着の特性を活かした新たな事業に積極的に挑戦します。

お客さまへの提供  
サービスの充実

マルチエネルギー  
供給に向けた取り組み

最適なエネルギー  
サービスの提案

付加価値サービス  
事業の強化

販売チャネル  
の強化

### (4) 経営基盤の整備

一層の経営効率化を推進するとともに、業務品質等の向上の取り組みを通じ、市場や地域社会から信頼される企業を目指します。

グループ体となった  
競争力強化

経営効率化の推進

重点分野への投資

多様な人財活用

CSR経営の深耕

(参考：資本政策の基本的な方針)

当社は、ガス事業を中心とする公共性の高い業種であることから、安定的な経営基盤の確保及び将来の経営環境への対応に必要な株主資本の水準を保持するとともに、株主還元として、中間・期末の年 2 回配当による安定配当の維持継続を基本方針としております。



## IV. 経営目標

### 1. 経営目標

#### (1) 安定供給と保安の確保に関する目標

○ガスの製造から消費にかかわる重大事故<sup>※</sup>件数：ゼロ

※当社に起因するガス事業法施行規則第112条の詳報ガス事故。

○安定供給の確保と保安の高度化に資する設備投資額：100億円（3か年計）

#### (2) 営業・サービスに関する目標

○お客さまニーズにお応えできる新たな付加価値サービスの提供

#### (3) 経営指標に関する目標

○平成28年～平成30年 総資産経常利益率：4.0%（3か年平均）

## V. 重点課題

### 1. エネルギーシステム改革への対応

#### (1) 制度変更への的確な対応

ガス事業制度の変更に対して的確に対応します。

#### (2) 環境変化への対応

平成 29 年のガス小売全面自由化に向けた社内体制の見直し等を行い、お客さま対応の準備に万全を期します。

### 2. 保安の高度化と供給基盤の強靱化

#### (1) 保安の高度化

重大事故ゼロに向けた業務品質の向上やリスクマネジメント手法に基づく合理的かつ効果的な保安活動を実施する等、保安の高度化を推進します。

#### 緊急保安研修施設を整備します

緊急保安業務<sup>\*</sup>に係る技術・技能の伝承とスキル向上のため、実際の現場を想定した様々な訓練を実施する緊急保安研修施設を整備し、保安の高度化を推進します。

※緊急保安業務とは、ガスもれ等の緊急事態の際に、お客さまの安全を最優先に被害の拡大を防止するために行う業務です



緊急保安研修施設完成イメージ

#### 保安の高度化に資する技術開発に取り組んでいます

当社も含めて共同<sup>\*</sup>で開発したガス工事用の部材「シャッター装置不要型 鋼管／铸铁管用トランジション活管分岐継手」が、当社初の一般社団法人日本ガス協会の平成 27 年度「技術大賞」に選ばれました。今後も保安の高度化に資する技術開発に取り組んでまいります。

※大多喜ガス棚、北陸ガス棚、J F E 継手棚等との共同開発

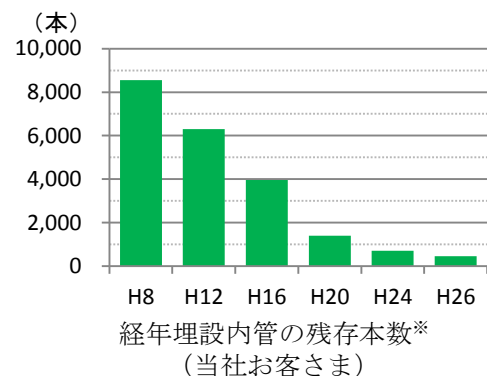


改良型ガス管分岐継手

#### お客さま先での保安向上の取り組みを進めています

当社は、お客さまに安心して都市ガスをお使いいただくため、不完全燃焼防止装置等が装備されている安全なガス機器へのお取替えやお客さまの敷地内に埋設されている古くなったガス管（経年埋設内管）の交換をお勧めする等、保安向上の取り組みを推進します。

※学校や病院等の公共性の高い建物や鉄筋系の集合住宅、不特定多数の人が集まる業務用の建物等における残存本数



## (2) 防災対策の高度化

地震等に対する防災対策の高度化を推進します。

### 防災対策の高度化に継続して取り組みます

中期経営計画（平成25年～平成27年）では、東日本大震災で大きい被害を受けた浦安市をはじめとした供給ネットワークの防災対策を進めてまいりました。今後も引き続き、防災対策の高度化に資する取り組みを積極的に行ってまいります。



地震防災訓練の様子

### 防災対策と事業継続の最高ランクを取得しました

東日本大震災の経験を踏まえた全社的な防災・事業継続体制構築への取り組みが評価され、㈱日本政策投資銀行が行っている事業継続対策等に関する格付け融資制度において、当社は平成27年1月に最高ランクの評価を取得しました。



「DBJ BCM 格付」の認定マーク

## (3) 供給基盤の強靱化

供給ネットワークの整備等により供給基盤の強靱化を推進します。

### 供給ネットワークの強化に取り組んでいます

需要の増加等に応じた導管網の整備、導管連絡（ループ化）による供給能力の改善等、今後も安定供給に寄与する供給ネットワークの強化を行ってまいります。



導管網の整備

### 道路に埋設されている古いガス導管の入替を進めています

古いガス導管の劣化等によるガス漏えいを予防するため、道路に埋設された導管の入替を進めています。今後も引き続き、計画的に古いガス導管の入替を行ってまいります。



耐震性に優れたポリエチレン管への入替

## 3. サービス価値の向上

### (1) お客さまへの提供サービスの充実

多様なお客さまニーズを把握し、都市ガスをはじめとした提供サービスメニューを充実します。

### (2) マルチエネルギー供給に向けた取り組み

都市ガスに加えて、他のエネルギー商品の販売に向けた取り組みを推進します。

### 電力小売事業に参入します

当社は、平成26年10月より特定規模電気事業者として、自社施設およびグループ会社の施設に電力供給を行ってまいりました。今後、本格的な電力小売事業への参入に向けて準備を進めていく予定です。



平成26年10月プレスリリース

### (3) 最適なエネルギーサービスの提案

お客様の用途に応じて、省エネルギー等につながる高効率ガス機器やそれらを含めた最適なエネルギーサービスの提案を行います。

#### 家庭用燃料電池エネファームをご提案しています

家庭用燃料電池エネファームをはじめとした高効率ガス機器の普及促進活動を通じて、お客さまとともに環境貢献に取り組んでおります。今後、これまでの戸建用に加えて、集合住宅用のエネファームの販売についても検討いたします。

※  ENE-FARM は登録商標です。



#### 超高効率 GHP XAIR（エグゼア）Ⅱの販売を開始しました

当社は、更に省電力性が向上した超高効率ガスエンジンヒートポンプエアコン GHP XAIR（エグゼア）Ⅱをご提案することで、お客さまの省エネルギーに貢献してまいります。

※  GHP XAIR II は登録商標です。



#### 千葉県立高校 PTA 向けにガス空調サービスを提供しています

千葉県立高校 PTA 向けのガス空調サービスは、平成 18 年よりサービスを開始し、おかげさまで採用数が 22 校で冷房能力合計が約 1 万 kW になりました。今後も引き続き、ビジネスパートナーとともにお客さまに満足いただけるサービスを提供してまいります。



ガス空調機（GHP 室外機）

#### 環境に優しい天然ガスの普及拡大を推進しています

産業用分野を中心に、重油等の石油系燃料から環境に優しい天然ガスへの燃料転換を積極的にご提案しております。燃料転換による CO<sub>2</sub> 削減に加えて、省エネルギー提案等を行うことでお客さまとともに一層の CO<sub>2</sub> 削減を行ってまいります。



金属熱処理工程における天然ガス利用

### (4) 付加価値サービス事業の強化

都市ガスに関連したサービスや生活に関連したサービス事業の強化に取り組めます。

#### オール京葉ガスで生活に関連したサービス提供の取り組みを進めています

京葉住設(株)では、平成26年8月に安心で高品質なリフォームをお約束するリフォームブランド「クラシモ」を立ち上げました。「ガスも、暮らしも、快適に。」をキーワードにお客さまのお住まいを丸ごと幅広くサポートしてまいります。

(株)アクセスでは、居宅介護支援や訪問介護、通所介護を行っております。また、新日本設備(株)やケージェイリビング(株)では、介護用福祉用具のレンタル・販売をしています。高齢化社会が進展する中で、お客さまのニーズにあったサービスの提供に努めてまいります。



#### (5) 販売チャネルの強化

ビジネスパートナーの業務品質向上に向けた取り組みやガスシステム改革に向けた最適な販売体制の構築に向けた検討を行います。

### 4. 経営基盤の整備

#### (1) グループ体となった競争力強化

ビジネスパートナーの競争力強化に資する施策を推進します。

#### (2) 経営効率化の推進

業務効率化や保有資産・ノウハウの有効活用等による経営効率化を更に推進し、ガス小売の全面自由化に伴い競合が激化する中で、財務体質の強化を図ります。

#### (3) 重点分野への投資

お客さまに安全に、そして安心して都市ガスをお使いいただくため、保安の高度化や供給基盤の強化等の重点分野への投資を積極的に行います。

#### (4) 多様な人財活用

ダイバーシティの推進とともにお客さまに喜んでいただける新たなサービスの拡大等にチャレンジできる人財育成を推進します。

#### 女性活躍に資する取り組みを 厚生労働省ポータルサイト※へ掲載しています

当社は、職場の風土や個人々の意識改革をはじめとした様々な問題を洗い出し、性別に関わらずワークライフバランスのとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組んでまいります。

※厚生労働省ポータルサイト URL  
<http://www.positiveaction.jp/>



厚生労働省ポータルサイトへの掲載

#### (5) CSR 経営の深耕

市場や地域社会からの信頼を高めるため、コンプライアンス向上や地域に根ざした環境活動を推進します。

#### 出張授業で次世代教育を行っています

楽しく親しみやすい体験を通じて、子供たちに身近なところからエネルギーや環境問題への関心を持っていただき、ご家庭における取り組みのきっかけづくりになる活動を目的とした出張授業を行っています。



出張授業の様子（都市ガスが届くまで）





本資料の内容は発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により本資料の予想と異なる結果となることがあります。